

2024年度中間期 決算ダイジェスト

(2024.4.1 – 2024.9.30)



いよぎんホールディングス

2024.11.8

連結損益状況

高水準の連結コア業務粗利益の計上に加え、相場動向を捉えた有価証券関係損益の増加により、親会社株主に帰属する中間純利益は過去最高益を計上いたしました。

持株連結（単位：百万円）	2024年度	前年同期比	増減率	2023年度
	中間期			中間期
A. 連結コア業務粗利益	53,178	+2,389	+4.7%	50,789
資金利益	44,428	+2,947		41,481
役務取引等利益	5,507	△31		5,538
その他業務利益 （除く国債等債券関係損益）	3,242	△526		3,768
B. 経費（△）	34,220	+7,001	+25.7%	27,219
人件費	15,475	+464		15,011
物件費	16,241	+5,684		10,557
税金	2,504	+854		1,650
連結コア業務純益	18,957	△4,613	△19.6%	23,570
C. 信用コスト（△）①+②-③	167	△1,345		1,512
一般貸倒引当金繰入額①	△366	△139		△227
不良債権処理額②	779	△1,094		1,873
償却債権取立益③	245	+112		133
D. 有価証券関係損益	22,399	+8,892		13,507
国債等債券関係損益	15,200	+4,927		10,273
株式等関係損益	7,198	+3,965		3,233
その他の臨時損益	1,760	△81		1,841
経常利益	42,951	+5,545	+14.8%	37,406
特別損益	△231	△103		△128
税引前中間純利益	42,719	+5,442		37,277
中間純利益	29,952	+5,221	+21.1%	24,731
E. 親会社株主に帰属する中間純利益	29,954	+5,221	+21.1%	24,733
経常収益	121,605	+21,843	+21.9%	99,762
連結業務純益	34,524	+453	+1.3%	34,071

A. 連結コア業務粗利益 前年同期比 +2,389百万円

- ✓ 貸出金残高の増強による貸出金運用益の増加、ヘッジ無外債の増強による有価証券運用益の増加を主因として、資金利益が増加
- ✓ ヘッジコストの増加等により、その他業務利益が減少

B. 経費（△） 前年同期比 +7,001百万円

- ✓ 戦略投資の増加や次期基幹系システムのコスト増加により、物件費が増加（うち次期基幹系システムコスト：+4,665百万円）
- ✓ 消費税等の増加により、税金が増加

C. 信用コスト（△） 前年同期比 △1,345百万円

- ✓ 引当率の低下等により、一般貸倒引当金繰入額が減少
- ✓ 倒産・ランクダウン等の減少により、不良債権処理額が減少

D. 有価証券関係損益 前年同期比 +8,892百万円

- ✓ 相場動向を捉えた外債等の売却益増加により、国債等債券関係損益が増加
- ✓ 政策保有株式・純投資株式の売却益増加により、株式等関係損益が増加

E. 親会社株主に帰属する中間純利益 前年同期比 +5,221百万円

伊予銀行単体損益状況、預貸金・預り資産の状況

損益状況【伊予銀行単体】

- コア業務粗利益の増加、有価証券関係損益の増加を主因として中間純利益は増益となり、過去最高益を計上しております。

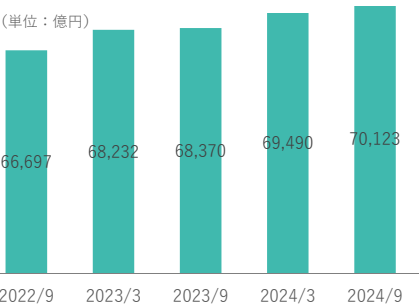
伊予銀行単体（単位：百万円）	2024年度 中間期			2023年度 中間期
	前年同期比	増減率		
コア業務粗利益	50,236	+ 2,172	+ 4.5%	48,064
資金利益	44,270	+ 2,821		41,449
役務取引等利益	3,343	△294		3,637
その他業務利益 （除く国債等債券関係損益）	2,622	△355		2,977
経費（△）	32,932	+ 6,920	+ 26.6%	26,012
人件費	12,820	+ 287		12,533
物件費	17,678	+ 5,815		11,863
税金	2,433	+ 819		1,614
コア業務純益	17,303	△4,748	△21.5%	22,051
信用コスト（△）①+②-③	38	△1,302		1,340
一般貸倒引当金繰入額①	△240	+ 1		△241
不良債権処理額②	521	△1,193		1,714
償却債権取立益③	242	+ 110		132
有価証券関係損益	22,450	+ 8,867		13,583
国債等債券関係損益	15,200	+ 4,927		10,273
株式等関係損益	7,249	+ 3,940		3,309
その他の臨時損益	1,880	△124		2,004
経常利益	41,595	+ 5,296	+ 14.6%	36,299
特別損益	△231	△103		△128
税引前中間純利益	41,363	+ 5,193		36,170
中間純利益	29,119	+ 5,032	+ 20.9%	24,087
経常収益	110,931	+ 20,840	+ 23.1%	90,091
業務純益	32,744	+ 178	+ 0.5%	32,566

預貸金・預り資産の状況

- 預金等残高は前年同期比1,753億円増加して7兆123億円、貸出金残高は前年同期比1,602億円増加して5兆7,017億円となりました。
- 預貸金共に堅調な増加が続いております。

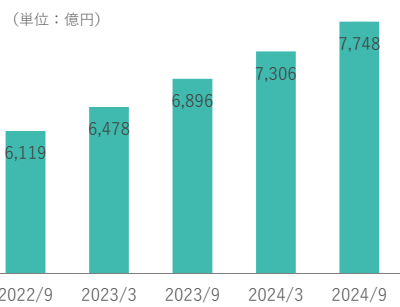
◆ 預金等残高【伊予銀行単体】

（単位：億円）



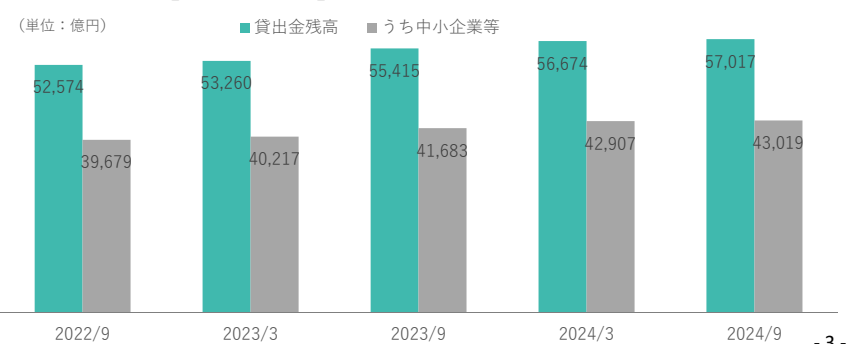
◆ 預り資産残高【連結】

（単位：億円）



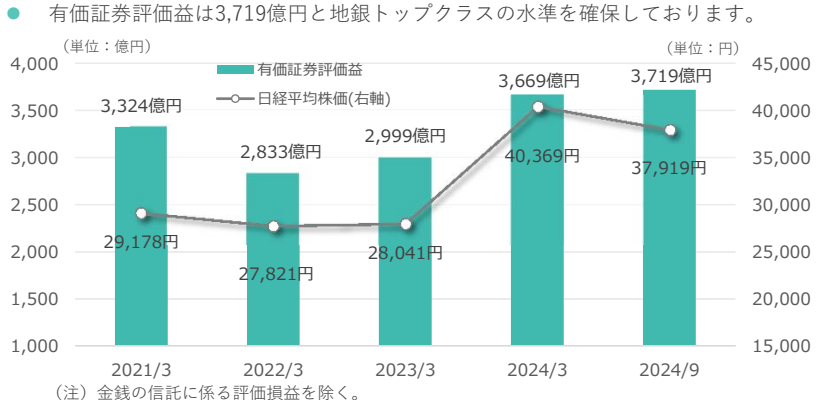
◆ 貸出金残高【伊予銀行単体】

（単位：億円）

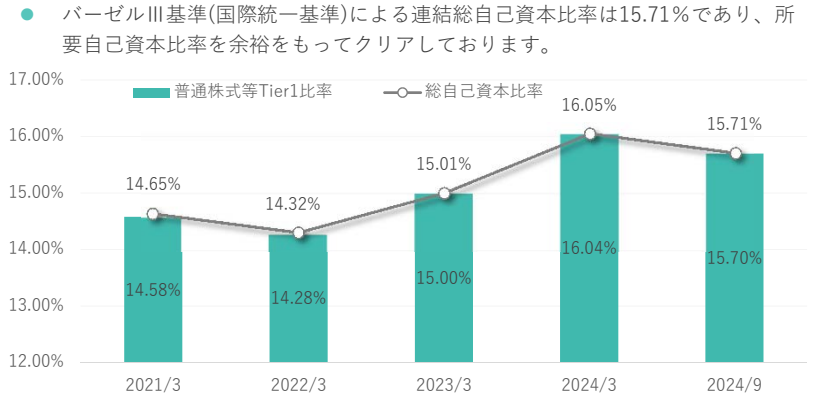


有価証券評価益及び自己資本比率、開示不良債権の状況

有価証券評価益【連結】



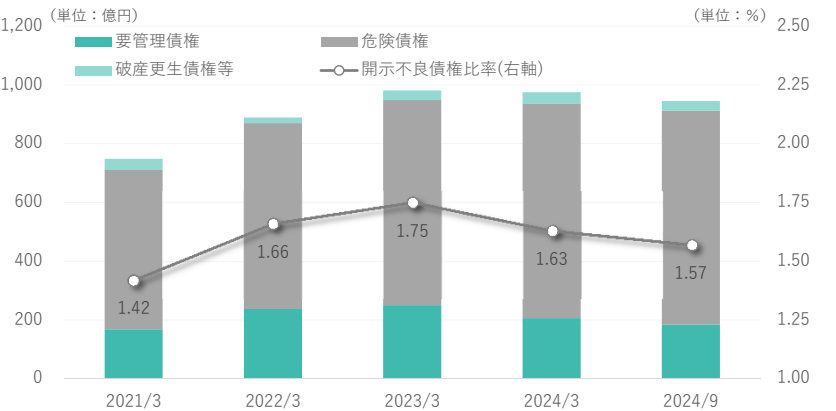
自己資本比率の推移（バーゼルⅢ基準）【連結】



金融再生法開示基準による不良債権額・比率推移【連結】

- 金融再生法開示基準による不良債権比率は1.57%となり、低水準の倒産・ランクダウンを背景に、引き続き低水準を維持しております。

	2024/3	2024/9	前年度比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	38	33	△ 5
危険債権	731	728	△ 3
要管理債権	206	184	△ 22
三月以上延滞債権	23	22	△ 1
貸出条件緩和債権	182	161	△ 21
開示不良債権合計	976	946	△ 30
正常債権	58,767	59,050	+ 283
合 計	59,743	59,996	+ 253
開示不良債権比率	1.63%	1.57%	△ 0.06%



業績及び配当予想

連結コア業務粗利益、有価証券関係損益の増加を主因として、親会社株主に帰属する当期純利益は500億円と過去最高益を見込んでおります。
2024年度の1株当たりの配当金は年間40円(中間配当20円、期末配当20円)を予定すると共に、総額70億円の自己株式取得を予定しております。

持株連結（単位：億円）	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	中間期実績	2023年度 実績			2024年度 予想	前年度比
							中間期実績	前年同期比		
連結コア業務粗利益	828	866	904	895	507	987	531	+24	1,065	+78
うち資金利益	663	716	726	753	414	829	444	+30	890	+61
うち非資金利益	164	150	177	142	93	157	87	△6	175	+18
経費（△）	525	521	516	526	272	551	342	+70	645	+94
連結コア業務純益	303	345	388	368	235	435	189	△46	420	△15
信用コスト（△）	73	133	43	△25	15	27	1	△14	0	△27
有価証券関係損益	34	36	11	△0	135	149	223	+88	270	+121
経常利益	294	261	382	424	374	585	429	+55	720	+135
親会社株主に帰属する当期純利益	189	180	264	278	247	394	299	+52	500	+106
1株当たり配当金	14円	14円	16円	17円	10円	30円	20円	+10円	40円	+10円

【参考】自己株式取得実績・見込 2021年度：総額30億円、2022年度：総額40億円、2023年度：総額93億円、2024年度：総額70億円（予定）

参考：伊予銀行単体（単位：億円）	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度		2024年度			
					中間期実績	実績	中間期実績	前年同期比	予想	前年度比
コア業務粗利益	767	805	845	841	480	928	502	+22	1,000	+72
経費（△）	499	496	490	503	260	527	329	+69	620	+93
コア業務純益	268	309	354	337	220	401	173	△47	380	△21
経常利益	265	237	352	392	362	561	415	+53	695	+134
当期純利益	185	166	246	263	240	378	291	+51	485	+107

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。
実際の業績は、今後の経営環境の変化等の様々な要因によって変動する可能性があります。